桜の聖母学院新聞

発行所
福島市野田町七丁目11番1号
桜の聖母学院高校新聞部

翔け！「コロナ後」の世界へ

祝・桜の聖母学院高校第69回卒業生

2023年3月1日、桜の聖母学院高等学校は第69回の卒業生を送り出す。12年前、東日本大震災直後の混乱の中で小学校に入学したこの学年は、高校生活もそっくりコロナ禍の中での3年間となった。ようやくコロナの出口が見え始めたこの春、在学中に18歳で成人となった最初の学年でもある卒業生たちの門出に、いま惜しみない祝福が贈られる。

思い返せばこの学年は、2020年2月末からの全国一斉臨時休校中に中学校を卒業。高校入学式はできたものの再び休校に入り、クラスメートの顔も名前も一致しない、前代未聞の高校生活のスタートとなった。その間に日本社会では、これを機に欧米に合わせ9月入学を、といった議論も起きるなど、先の見えない不安の日々を過ごした。

5月末にようやく再開された学校生活も、行事の縮小や中止が相次ぎ、東京オリンピックが延期となった1年次の夏には全国高校総合体育大会＝インターハイも中止に。2年次10月の修学旅行は実施できたものの、この学年限りの2泊3日の金沢方面となった。3年次の8月末には、来場制限等はあったものの最初の文化祭「桜華祭」を全力で満喫、限られた中で精いっぱいの思い出をつくり、卒業の日を迎えた。

本校のおおもとの創設者の名を冠した「聖マルグリット・ブールジョワ賞」の該当者はなかったが、「学校長賞」には7名が選ばれ、晴れの受賞に輝いた。

うち文化活動・スポーツ活動部門では、中止となった1年次を除き2・3年次にインターハイ全国大会に出場した卓球部から、熊田朋華さん、高橋美悠さん、刈宿千穂さん（以上3組）、横山愛莉さん（1組）が受賞。特に熊田さんと高橋さんは、3年次のインターハイのダブルスで、本校卓球部史上最高のベスト16という成績を残した。また本校の部活動ではないものの、幼い頃から続けてきたキックボクシングの全国大会で優勝するなど活躍した、山﨑岬さん（2組）にも学校長賞が授与される。

生徒会活動部門では、1年次後期から3年次前期まで4期連続で役員として活躍した、宍戸菜々美さん（3組）、椎根輝音さん（4組）が選出された。

なお皆勤賞・精勤賞は次の通り（敬称略）。後輩の皆さんも、これらの先輩を良き手本として努力を続けてほしい。

本校校舎中庭の枝垂れ桜と聖母子像

熊田朋華さん

髙橋美悠さん

刈宿千穂さん

横山愛莉さん

山﨑岬さん

宍戸菜々美さん

椎根輝音さん

【皆勤賞】
1組　伊東　凛
　　佐々木　菫
　　丹治　莉沙
2組　中村　真衣
　　野澤　未夢咲
　　横山　愛莉
　　鈴木　咲千
3組　熊田　朋華
　　佐藤　愛花
　　三津間　佳心
　　山田　桜香
4組　笠井　伊万里
　　斉藤　美希
　　髙橋　棋琳
　　高橋　萌衣
　　馬場　愛華
　　深谷　ゆい
　　三浦　夢乃
　　吉田　有理恵

【精勤賞】
1組　石川　慧花
　　陶山　倫央
　　祖川　風香
　　髙橋　理恋
2組
3組　伊藤　優理
4組　吉田　光咲葵
　　佐久間　香菜
　　三本木　萌夏
　　武藤　彩華

「聖マルグリット・ブールジョワ賞」
学校長賞受賞の対象となった生徒のうち、特に優れた功績を残し、在学中の後輩のみならず、後年にわたって後輩の良き模範となると認められる者

「学校長賞」
高等学校在学中の学業成績・生徒会活動・文化活動・スポーツ活動において、優れた功績を残し、後輩の良き模範となる者

(1)学業成績
3学年を通して真摯に学業に臨み、各学年末評点平均が90点以上である者
(2)文化活動・スポーツ活動
部活動や校外活動において、インターハイや国体などに出場するなど著しく活躍した者
(3)生徒会活動
4期連続して生徒会役員として、積極的に生徒会活動に貢献した者
（但し、4期連続者のいない学年は、3期とする）

「皆勤賞」
3年間を通して、無欠席・無遅刻・無早退である者

「精勤賞」
3年間を通して無欠席であり、遅刻・早退の合計が3回以内の者
（但し、3年次の出欠扱いは、1月末までとする）

校歌

美しきわがまなびや
山脈はめぐりて高きその姿
黄金なすそのやすらいに
汝をば育み
黄金なすそのやすらいに
みそらはほほえむ

紙面紹介

2面 ●東北学院大学キャンパス体験記
●書評「ウクライナから来た少女ズラータ、16歳の日記」
●学生時代・飯塚先生

令和５年度入試　大学合格者数

2023年2月15日判明分 既卒1名を含む

学校名	学部名	学科・専攻・コース名	合格者数
岩手大学	農学部	植物生命科学科	1
宇都宮大学	国際学部	国際学科	1
福島大学	人文社会学群	行政政策学類	1
		人間発達文化学類 教育実践コース	2
	農学群	食農学類	1
都留文科大学	教養学部	学校教育学科	1
福島県立医科大学	医学部	医学科	1
	看護学部	看護学科	1
	保健科学部	理学療法学科	1
茨城キリスト教大学	看護学部	看護学科	1
医療創生大学	看護学部	看護学科	1
	心理学部	臨床心理学科	1
奥羽大学	薬学部		1
関西外国語大学	英語キャリア学部	英語キャリア学科	1
	外国語学部	英米語学科	1
國學院大學	観光まちづくり学部	観光まちづくり学科	1
国際医療福祉大学	小田原保健医療学部	看護学科	1
国士舘大学	法学部	現代ビジネス法学科	1
実践女子大学	文学部	美学美術史学科	1
上智大学	経済学部	経済学科	1
	神学部	神学科	1
	法学部	法律学科	1
尚美学園大学	芸術情報学部	情報表現学科 音響映像照明コース	1
昭和大学	薬学部	薬学科	1
女子美術大学	芸術学部	アートデザイン表現学科 ヒーリング表現領域	1
聖心女子大学	現代教養学部		3
聖徳大学	教育学部	教育学科	1
仙台大学	体育学部	健康福祉学科	1
拓殖大学	国際学部	国際学科	1
帝京大学	薬学部		1
帝京平成大学	健康メディカル学部	言語聴覚学科	1
	薬学部		1
東京工芸大学	芸術学部	写真学科	1
東京女子大学	現代教養学部	国際社会学科経済学専攻	1
東京農業大学	生物産業学部	海洋水産学科	1
東京福祉大学	心理学部	心理学科	1
東都大学	ヒューマンケア学部	看護学科	1
東北医科薬科大学	薬学部	生命薬科学科	1
東北学院大学	情報学部	データサイエンス学科	1
	地域総合学部	政策デザイン学科	1
	文学部	英文学科	1
東北芸術工科大学	芸術学部	美術科総合美術コース	1
東北福祉大学	教育学部	教育学科初等教育専攻 幼保コース	1
	健康科学部	保健看護学科	2
	総合福祉学部	社会福祉学科	2
	総合マネジメント学部	情報福祉マネジメント学科	2
	総合福祉学部	福祉心理学科	2
南山大学	外国語学部	英米学科	1
新潟医療福祉大学	医療技術学部	臨床技術学科	1
日本女子大学	人間社会学部	教育学科	1
日本大学	文理学部	英文学科	1
フェリス女学院大学	音楽学部	音楽芸術学科	1
福島学院大学	福祉学部	福祉心理学科	3
文教大学	情報学部	メディア表現学科	1
	文学部	日本語日本文学科	1
宮城学院女子大学	学芸学部	人間文化学科	1
	教育学部	教育学科児童教育専攻	1
	現代ビジネス学部	現代ビジネス学科	1
目白大学	保健医療学部	理学療法学科	1
	社会学部	社会情報学科	2

桜の聖母短期大学合格者数

学校名	学科・専攻・コース名	合格者数
桜の聖母短期大学	キャリア教養学科	3
	生活科学科福祉こども専攻こども保育コース	3

進路指導部長・吉田先生に聞く

第3回共通テストを終えて

大学入試センター試験に代わり3年前から導入された大学入学共通テストが、今年は1月14日(土)、15日(日)に実施された。昨年は東大会場前での切りつけ事件や、インターネットを使った不正行為など想定外の事態が相次いだが、今年は落ち着いた実施となった。3回の実施を終えた共通テストについて、本校進路指導部長の吉田充先生にうかがった。

Q：初回・第2回との違いはありましたか？

A：3年目でようやく落ち着いた印象です。1年目は意外に易しく、2年目の昨年は特に数学で難化し「数学ショック」とも呼ばれましたが、今回は生物や化学での得点調整こそあったものの、本来目指していた形に近づき、今後の共通テストの基準となるものとなったのではないでしょうか。

Q：来年以降の共通テストに向けての対策は？

A：共通テストの特徴でもある読解力に目が行きがちですが、センター試験と同様、やはり基礎基本が大切です。普段の学校の授業に取り組むことで基礎をつくり、知識を蓄えていってください。読解力については、これも以前から言われていることですが、普段から本や新聞を読んで長く堅い文章に慣れておくことです。センター試験の時代には、センター対策がそのまま私大や国公立二次の対策にもつながりましたが、共通テストは独自の対策が必要となっています。

Q：昨年までと比べて、世間ではコロナ対策の制限が緩和されてきていますが、共通テストや大学側の対応に変化はありますか？

A：コロナ禍での共通テストも3回目となったことで、対処が早く慣れてきた印象です。コロナが感染症法上の5類になるとどうなるかですが、完全にコロナ以前の形に戻るかどうかは、まだまだ分かりません。

Q：1・2年生へのアドバイスをお願いします。

A：基礎と知識の定着を、しっかり身につけてください。特に国数英を1・2年生のうちに基礎固めして、3年生で理社を中心に取り組むことが理想です。生徒の皆さんを見ていると、授業中に当てられるからという理由で予習には取り組むのですが、復習がおろそかになりがちです。基礎の定着には復習こそ大切です。また最近は新聞をとらない家庭も多いようなので、受験生の一年間だけでもとってもらうとか、その気になれば教室やスタディーセンターにも置いてあるので、大いに利用しましょう。

はりこ

▼ここ数年、なぜか2月に世界で大きな災厄が起こる。3年前には新型コロナウイルスのパンデミックが本格的に始まり、2年前はミャンマーでクーデターが発生。そして昨年はロシアのウクライナ侵攻の開始。さらに今年はトルコ・シリアの大地震まで起きてしまった▼だがそのうちコロナに関しては、辛うじて出口が見えつつある。ただし完全な克服にはほど遠く、コロナと共存しながら徐々にコロナ前に戻すという形だが。政府は5月8日から、感染症法上の分類を季節性インフルエンザと同じ5類にすると決定、巷ではマスクを外す外さないで議論が起きているが、学校現場はそれだけではない▼この3年間続けてきた、毎朝の検温カードの記入に始まり、昼食時に席を動かさない黙食、食後のアルコール消毒、こまめな換気などは今後どうなるのか。そして縮小や中止を余儀なくされてきた文化祭や修学旅行などの学校行事も、すべてコロナ前に戻せるのか▼今の高校生は、コロナ前の高校生活を知らない。卒業する3年生が高校に入学した時には、既にコロナ禍が始まっていて臨時休校中だった。コロナ前は入場制限のなかった文化祭「桜華祭」では、県北唯一の女子校ということもあり、様々な客層の来場者があったが、在校生は未体験だ▼修学旅行は、昨年10月に2年生が無事に3年ぶりの長崎に行き、現1年生も長崎で決まっている。だがコロナ前の2019年には、本校初の選択修学旅行として、カナダと長崎に分かれて実施していた。カナダ修学旅行を復活させるには、コロナ以外にも高いハードルがある。この1年ほど続く、円安とインフレだ▼海外修学旅行が実施できたのも、1$＝110円前後の円高基調が続いていたからこそ。だが当時もう現地ではインフレが始まっており、今はコロナからの経済回復でさらに拍車がかかっている。海外ではそれに伴い賃金も上がっているが、日本では物価上昇にもかかわらず賃金はほとんど上がらない▼さらに航空機の燃料サーチャージも史上最高値だ。これはウクライナ情勢も影響しているので、この戦争が終わらない限り以前のように庶民が手軽に海外へは行けないだろう。世界が完全にコロナ前に戻れるのは、いつのことになるのだろうか。

大学受験現役合格体験記

この新聞の発行時期の都合上、一般受験も含めたすべての結果を掲載できないのは残念だが、既に合格を決めた3年生の声を紹介する。後輩の皆さんは、これら先輩方の貴重な体験やアドバイスを参考に、今後の高校生活を過ごしていただければ幸いである。なお一昨年度より、従来の公募推薦は「学校推薦型選抜指定校」、AO入試は「総合型選抜」に変更されている。

徳丸　灯
国福島大学人文社会学群 行政政策学類

【受】学校推薦型選抜公募
【動】将来公務員として地方の行政運営に携わりたいと考えており、関連する知識をしっかり学ぶことができると思ったため。加えてジェンダー論など幅広い分野の科目を選択できることに魅力を感じたから。
【勉】一つひとつの小テストや定期試験を大切にし、すきま時間の活用も心がけた。英語や世界史、倫理など単語の重要性が高い科目の学習では、紙に繰り返し書くことを意識した。
【活】理科部の部活動。研究・発表だけでなく、科学の内容をからめたドラマの撮影などのユニークな活動に参加できたことは、とても貴重な経験になった。
【桜】先生方の手厚いサポートを受けられたこと。出願から受験準備まで、段取りを一緒に確認してくださったり、的確なアドバイスをいただけたりしたことは、実際の受験に活きただけでなく、精神的にも大きな支えになった。
【後】今はまだ進路や将来について、具体的なイメージが持てない人も多いと思います。しかし目の前の学習に集中して一つひとつ積み上げていけば、自分が進みたい方向が見つかった時に、それらは皆さんの背中を強く押してくれます。辛い、つまらないと思うようなことも、頑張って続けてみてください。「やってきてよかった」と思える瞬間が、きっと来ます。

辛島　莉々子
国宇都宮大学国際学部 国際学科

【受】学校推薦型選抜公募
【動】先生の人数に対して学生数が少ないため、丁寧な指導をしてくれると考えたから。また国内外の様々なところから学生が集まることが、魅力的だった。
【勉】教科を問わず先生方に出された課題をこなし、定期テスト前には基礎的な問題は完璧に理解できるように勉強し、その上で応用的な内容に取り組んだ。
【活】インターアクト部の部活動。ボランティア活動をはじめ、ペットボトルキャップ回収、マラウィコーヒーの販売、SDGsの探究など、国内外の支援をしながら知ることができた。
【桜】私が国際系に興味を持つきっかけになった、オンライン英会話が学べたこと。また先生方が受験対策の面接練習などで支えてくれたこと。
【後】たった3年しかない高校生活の中で、様々なものに興味を持つとよいと思います。そこで持てた興味を「気になる」で終わらせず、発展させ行動して行けば、充実した3年間を送ることにつながるはずです。皆さん自身にとって悔いのない高校生活が送れるよう、応援しています。

佐久間　史歩
国岩手大学農学部 植物生命科学科

【受】学校推薦型選抜公募
【動】中学生の頃から海外支援に興味があり、インターアクト部の活動やニュースを通して農業支援という方法があるのを知った。この大学は海外と協力して研究をしており、また外国語教育にも力を入れているため、志望を決めた。
【勉】英単語は夜、寝る前に暗記した。また小テストから高得点を取れるように、日頃から復習をするように努めた。
【活】インターアクト部の部活動。コロナが流行っていた1年次は活動が制限されていたが、できることに積極的に参加した。結果的に進路実現につながったので、力を入れてよかった。
【桜】先生方が親身になって小論文・面接対策をしてくださったため、本番で自分の力を発揮できた。自分は周りの環境に恵まれていると感じた。
【後】いろんな活動に積極的に取り組むことが大切だと思います。勉強も大事ですが、これまでの活動が大きな自信につながると感じました。またメンタルコントロールを上手くやって「自分ならうまくいく！」と思うことが、良い結果につながります。悔いの残らぬよう頑張ってください。

祖川　風香
公福島県立医科大学 看護学部看護学科

【受】学校推薦型選抜公募
【動】福島に転入した時に沢山の方々に助けていただいた恩返しをしたいと思い、県内で高度な医療を学べるこの大学を志望した。
【勉】基礎からできていなかったため、中学1年生から3年生の英語を中心に基礎を固めた。志望校の推薦入試の問題や、前期の問題を何度も解きなおした。
【活】新体操部の部活動。中1から高3まで6年間の大会やステージを通し、臨機応変な対応や仲間との協力を学ぶことができ、看護に必要とされるだろう体力や忍耐力がついた。
【桜】他の学校では触れることのない、宗教について学べたこと。毎日のお祈りをはじめ、週1回の宗教の授業やミサなど、常にキリスト教の思想に触れることができたことは良い経験だったと思う。
【後】いま勉強が伸び悩んでいる人もいるかと思いますが、基礎を理解すればできるようになるものも多いと思います。勉強はもちろん大変ですが、部活動やワンチャレンジなどへの挑戦も未来に役立つものがたくさんあるはずです。後悔のないよう精一杯頑張ってください。

橋本　瑛音
公都留文科大学教養学部 学校教育学科

【受】学校推薦型選抜公募
【動】教育学に特化したカリキュラムが充実しているだけでなく、ジェンダーの授業など時代に適応した広い視野を身につけられると思ったため。また児童との関わりにとどまらず取り巻く社会にも目を向ける、文化人類学的な学びができる点に魅力を感じたため。
【勉】定期テストはもちろん、授業で行う小テストにも準備して取り組み、基礎的な部分や単語力を身につけた。通学時間が長かったため、電車の中で教科書や単語帳を見るようにした。
【活】生徒会活動。うち1年間は会長として活動し、コロナ禍の制限の中で全生徒が楽しめるような企画運営に努めた。特に令和4年度の桜華祭は、役員の力を最大限に活かすことができ、達成感を得られた。
【桜】中学校から同じ校舎のため、中学時代に習った先生方にも成長を見守っていただけること。進路についても長期間丁寧な指導をしてくださるので、安心して受験に向かえた。
【後】大切な高校生活を、大好きなこと、大好きな人、理想の自分を見つけられるような有意義な時間にしてほしいです。私は桜の聖母での学校生活と学びを通して、大切な友達や明確な夢を見つけることができました。自分の好奇心に貪欲に、高校生にしかできない経験をたくさんして、振り返った時に戻りたくなるような高校生活にしてください。応援しています。

橘　優有
私上智大学 神学部神学科

【受】総合型選抜（カトリック高校対象特別入試）
【動】教会建築をはじめとするキリスト教文化に興味があり、それらの背景にある神学を教皇庁立の神学部で本格的に学ぶことができると考えたから。
【勉】英語は単語がわかれば文章が読めると思ったので、単語を重点的に勉強した。家でも動画を使って英語を聞く習慣をつけた。
【活】美術部と桜華祭実行委員の活動。作り出す側になるのが楽しかったことと、後者はクラスの仲間と話す機会が多かったので、社交的でない私にはよい経験となった。
【桜】生徒の思いに応えてくださる先生のもとで学べたこと。特に受験に際しては、面接練習で時間をかけ内容を詰めてくださった先生方、志望理由書から小論文まで一切妥協を許さなかった先生のおかげで合格できたと思っている。大人から見解を吸収できることが、学生の特権だと気づいた。
【後】頑張れない時の方が頑張っている時より辛いと思うので、何もできない日があっても気にしないでほしいです。そして23時半までには寝てください。また何が起こるかわからないので、授業で使ったプリントは捨てないでほしいです。年度が終わる毎に捨てていた私は、小論文練習の際に宗教の授業で使ったプリントをすべて印刷し直していただきました。そのためしばらく先生にそのことを突っ込まれました。これらの3つは、1年生の私に教えてあげたいです。

伊藤　優理
私文教大学文学部 日本語日本文学科

【受】学校推薦型選抜公募
【動】国語と書道の教員を目指しているので、国語だけでなく書道も専門的に学ぶことができ、教員養成にも定評があるため。
【勉】短時間でもメリハリのある勉強をこころがけた。またできる限り読書をして、知識や教養を身に着けるようにした。小説だけでなく実用書やビジネス書など、幅広いジャンルを読むことで小論文や面接の対策になった。
【活】陸上部での活動と、書道の両立。仲間と共に目標に向かって努力した日々は、何にも代えがたい経験となった。最後の桜華祭で書道パフォーマンスを披露したことも印象深い。またガールスカウトなどのボランティア活動にも、積極的に取り組んだ。
【桜】アットホームな雰囲気のおかげで、楽しく充実した生活を送ることができた。丁寧なご指導と、親身になって向き合ってくださった先生方のおかげで、私も教員になりたいと思うきっかけになった。
【後】高校3年間はあっという間です。やるべきことをこなすのも大事ですが、自分のやりたいことや好きなことには妥協せず、どんどん挑戦してください。その挑戦が、あなたの進路や将来の夢に大きく関わることになるかもしれません。素敵な女性になれるよう、お互い頑張りましょう。

深谷　ゆい
私東北福祉大学 健康科学部保健看護学科

【受】学校推薦型選抜公募
【動】毎年の看護師国家試験の合格率が高く、大学に隣接する病院等で1年次の8月から実習を行うことができるなど、早い時期から経験を積むことができるところに魅力を感じたから。
【勉】時間はかかるが、教科書を読む、自分なりに図や記号を使いながらまとめる、問題を解くの繰り返し。特に問題は間違わなくなるまで解いた。また授業中は板書を写すだけでなく、メモをとるなどしていた。
【活】バスケットボール部の部活動。チームメートは少なかったが、その分一人ひとりと話す時間が多かったため、みんな仲良くとても楽しかった。
【桜】聖母でしか学べない宗教の授業や錬成会など、自分と向き合う時間があり、現在まで関わってきた人たちへの感謝が芽生えた。
【後】早めに目標を立て、そこに向かって努力すること。目標を立てることで辛い時でも最後まであきらめずにやり抜くことができると思います。また大学のオープンキャンパスに積極的に参加し、大学生と直接話したり、先生に質問するなど、大学の雰囲気を知ることが大切だと思います。

徳丸　灯
国福島大学人文社会学群 行政政策学類

氏名
合格大学・学部・学科
【受】受験方式
【動】志望校を決めた動機
【勉】高校時代にこころがけた勉強方法
【活】高校時代、勉強以外に打ち込んだ活動
【桜】桜の聖母学院で学んでよかったこと
【後】後輩へのメッセージやアドバイスなど

安斎理沙先輩の案内で行く

開学間近 東北学院大学キャンパス見学記

本校からも毎年複数名が進学する仙台の東北学院大学が、いま注目を集めている。35年にわたって使われてきた仙台市北部・泉区の郊外型キャンパスと、工学部の多賀城キャンパスを、古くからの仙台市の中心で本部が置かれている青葉区の土樋（つちとい）と、隣接する五橋（いつつばし）に集約し、加えて4つの学部を新設するという大改革を、今年2023年春に実施するのだ。そこでこの節目に泉キャンパスと、新設された五橋キャンパスを、10年ぶりという大寒波襲来直後の1月末に訪問・取材した。その直前に全国的に話題となった人の出身大学であることも、行ってみて初めてわかった。

全国から学生が集まる 学都・仙台

宮城県の県庁所在地で、東北地方最大109万人の人口を誇る政令指定都市の仙台市は、「杜の都」以外にも「学都仙台」として知られ、人口に占める大学生の割合が、京都市、東京都23区、福岡市などと並んで高い。ちなみに都道府県単位だと京都府が1位だが、我が福島県は残念なことに最下位となっている。

その理由はもちろん大学数の多さだ。仙台圏内には旧七帝国大学の一つ東北大学をはじめ、1965（昭和40）年に東北大学教育学部から独立した宮城教育大学、仙台市北端をわずかに越えた黒川郡大和町にある公立宮城大学と、国公立大学は3校。私立では今回の主役東北学院大学と、姉妹校とも言える宮城学院女子大学。2016年医学部が設置されて現在の名称となった、東北医科薬科大学。野球やゴルフなどスポーツでも有名で、実は曹洞宗系の東北福祉大学。地方の理系大学としては古い歴史を持つ、東北工業大学。かつての三島学園女子短大を共学化・四年制化した、東北生活文化大学。専門学校を母体に医療・福祉系の学部を展開する、東北文化学園大学。本校と同じカトリック系の、仙台白百合女子大学。さらに仙台市の南に隣接する名取市にある、プロテスタント系の尚絅学院大学も加えれば、私立四年制大学は9校。なお私立体育大の仙台大学は、名前こそ仙台だがかなり南の柴田郡柴田町にあるため、仙台圏の大学に数えるのは難しい。これらに石巻専修大学を加えれば、宮城県内に14校の四年制大学があって、そのほとんどが仙台市とその周辺に集中している。

よって東北6県をはじめ、特に東北大学などには全国から学生が集まる。東北地方唯一の地下鉄が走り、全国的にも有名な仙台七夕、プロ野球球団も本拠地を置く都会でありながら、生活費は首都圏に比べ安い。いざとなれば新幹線で最短1時間半で東京へ行ける一方、周辺には温泉地やスキー場も豊富、夏は涼しく冬の雪も市街地ではそれほど積もらないという、快適な学生生活を送れる町なのだ。

140年近い歴史を持つ 東北唯一の私立総合大学

そんな仙台の私立大学の中でも最古の歴史を誇り、工学部を含む多くの学部を持つことから、東北地方唯一の私立総合大学とされるのが、プロテスタント系の東北学院大学だ。仙台で「学院大」と言えばこの東北学院大学をさし、東北大学は難しいが地元に残りたい宮城県内の高校生をはじめ、福島の受験生には福島大学の併願校としても人気がある。

ただし福島市や山形市などから通えなくはないものの、文系学部の1・2年生が学ぶ泉キャンパスへは仙台駅からまず地下鉄で北の終点・泉中央駅まで行き、さらにバスに乗り換え約20分。待ち時間や混み具合を考えると歩いた方が早いかもしれないが、徒歩だと30分余りの細い道が多い通学路の最後には、長く急な坂道が待っており、ならばアパートの一人暮らしを選んだ方がいいか、微妙な距離にあった。しかし移転先の五橋キャンパスは、古くから本部が置かれ3・4年生が学ぶ土樋キャンパスにも近く、仙台駅から地下鉄で南にひと駅という都心部にあるため、福島などからでも4年間余裕で通えるようになり、私たちにとっては願ってもない移転となって、今後志願者増が予想される。首都圏や関西の大学も、80年代に学生数の増加に伴って郊外に移転したキャンパスを、都心に戻す傾向にあり、この東北学院大学の構想もその一環と見られる。

東北学院大学の起源は、1886（明治19）年に創設された私塾「仙台神学校」に遡る。今からちょうど150年前の1873（明治6）年に、300年近く続いたキリシタン禁教令が解かれた後、カトリックのみならずプロテスタントの宣教師も次々と来日、日本人の中にも新島襄のようにプロテスタントの学校を設立する者も現れた。1875（明治8）年に京都で生まれた同志社大学だ。仙台では元伊予松山藩士の押川方義が1880（明治13）年にはプロテスタントの宣教を開始、1885（明治18）年にアメリカから来日した改革派の牧師W・E・ホーイが加わって、翌年に仙台神学校が開校された。同じ年に二人は、仙台初の女子教育機関である宮城女学院＝現在の宮城学院の設立にもかかわっており、この二校は同じ会派による創立の姉妹校ということになる。ちなみに改革派とは、カルヴァンの教えに基づくキリスト教プロテスタントの一派である。なおホーイ師の名は、土樋キャンパス正門の道路を挟んだ向かいに7年前に完成した、多目的なホールなどを備えた近代的な「ホーイ記念館」の名前に残されている。

仙台神学校は5年後の1891（明治24）年に「東北学院」と改称、宣教師の養成以外にも普通教育・高等教育を充実させていった。島崎藤村が作文教師として赴任したのもこの頃。大正時代の仙台大火を生き抜き、1926（昭和元）年には現在の土樋キャンパス本館が完成。太平洋戦争中のキリスト教への迫害や空襲などにも耐え、戦後には新学制のもと新制中学・高校・大学を発足させた。この中学校と高等学校は最近まで宮城県内唯一の男子校だったが、昨年2022年に男女共学となった。その前年には高校の野球部が、強豪校の居並ぶ宮城県大会を制して夏の甲子園に初出場し、見事初戦を突破したものの、チーム内からコロナ感染者が出て無念の出場辞退となった悲劇でも話題となった。

その東北学院高校の榴ケ岡（つつじがおか）校舎として1959（昭和34）年に仙台駅東側の榴ケ岡に設置されたのが、現在の東北学院榴ケ岡高校で、1972（昭和47）年に名前はそのままで当時の泉市に移転し独立、1995年に共学化。この場所に16年後、大学の泉キャンパスが加わることになる。なお榴ケ岡高校は、大学が五橋に移転しても、そのまま泉の地で存続予定だ。

大学に話を戻すと、1962（昭和37）年に仙台市の東に隣接する多賀城市に多賀城キャンパスを新設、4年間ここで学ぶ工学部を設置した。その2年後にはそれまでの文経学部を文学部と経済学部に分離、翌年には法学部の設置と、60年代に一気に総合大学の体制を整えていった。

真新しい東北学院大学五橋キャンパス。左が安斎先輩

泉キャンパスの歴史と 今回の五橋移転

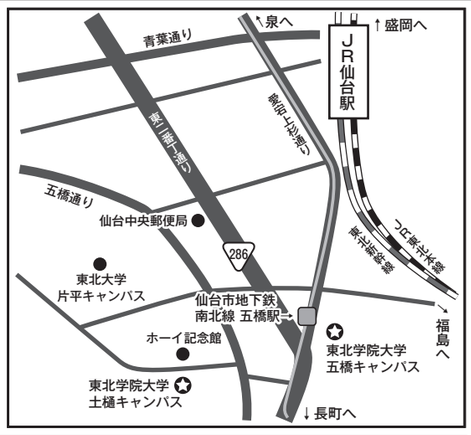
創立100周年から2年後の1988（昭和63）年、いよいよ東北学院大学泉キャンパスが産声を上げた。それまで仙台市の中心部・高等裁判所や東北大学本部のある片平に隣接する、土樋キャンパスで4年間を過ごしていた文系3学部の、1・2年次の教養課程が、既に榴ケ岡高校があった広大な泉キャンパスに移転したのだ。それまでも大学の部活動などは、野球場や全天候陸上競技場を備えたこの泉キャンパスで行われており、第二次ベビーブーム世代が入学する時期を迎えて、この郊外移転は当時としては自然な流れだった。

翌1989（平成元）年4月、仙台市は政令指定都市となり、それまでの泉市は仙台市に合併されて泉区に。同時に学院大では、4年間を泉キャンパスで学ぶ教養学部を新設。最近では2018年に、文学部に小学校教諭一種免許状も取得できる教育学科を設置するなど、常に時代の要請に応える発展を続けてきた。大学の周辺には学生向けのアパートが並び、仙台副都心とも呼ばれる泉区の商業施設などにアルバイトを供給するなど、地域の経済発展にも大きな役割を果たしてきた。クリスマスになると、泉キャンパス正面のロータリーにはツリーのイルミネーションが輝き、パイプオルガンを備えた広大な礼拝堂では地域住民を招いてクリスマスコンサートが開かれるなど、昭和の終わりから平成の時代、学院大は泉区の地域社会にしっかり根を下ろしてきた。

しかし前述の通り、仙台駅から1時間近くかかる不便さや、少子化の波の中で、キャンパスの都心回帰計画が持ち上がる。本部があり文系学部の3・4年生が学ぶ土樋キャンパスから東二番丁通りを挟んで東側の五橋には、仙台市立病院が建っていたが、2014年に南の長町に移転。その跡地に、東京都心の大学にもよく見られる高層ビルを中心とした都市型キャンパスを建設し、泉キャンパスの機能を移転することが報じられたのが、2016年のことだった。ここでは主に文系学部の1・2年生と、同時に閉鎖される多賀城キャンパスの工学部生が学ぶことになるが、さらに新学部が開設される。地域総合学部の地域コミュニティ学科と政策デザイン学科、人間科学部心理行動科学科、情報学部データサイエンス学科、国際学部国際教養学科の、4学部5学科だ。これまで教養学部で培ってきた分野の専門性を発展させた形だが、これに伴い教養学部は募集を停止する。

五橋移転後の泉キャンパスは、これまで通り体育施設などが部活動に使用される他、検定試験会場として貸し出したり、礼拝堂もコンサートホールとして貸し出される予定だが、他の大学や施設などが入るといった計画は今のところないという。何より数千人の大学生が学びや生活の拠点としてきた地域からいなくなると、周囲のアパートや店舗など泉区の経済に及ぼす影響ははかり知れず、新たな活用が待望されている。

春休みを迎えた泉キャンパス、左奥が礼拝堂



卒業生には 今年の芥川賞作家も

私たちは既に後期試験も終わって本当に学生の姿が全くない、雪に覆われた泉キャンパスを見学した後、土樋キャンパスに車を停めさせてもらい、まだ中には入れない五橋新キャンパスの外観だけでも見に行こうとしたところ、土樋キャンパスの塀に真新しい横断幕を発見した。そのわずか10日ほど前に『荒地の家族』で第168回芥川賞を受賞した佐藤厚志さんは、仙台駅前の複合ビル・アエル1階の丸善ジュンク堂に勤める書店員とは報じられていたが、この東北学院大学文学部英文学科の出身だったのだ。今回案内してくれた現役学院大生で、2年前に桜の聖母学院高校を卒業した安斎理沙先輩とは奇しくも同じ学部学科で、実際に行ったからわかった収穫だった。

学院大の卒業生といえば、郡和子・現仙台市長をはじめ、俳優の鈴木京香さん、仙台の美しい風景を歌った70年代の名曲『青葉城恋唄』のさとう宗幸さん、80年代に『ff（フォルテッシモ）』が大ヒットしたロックバンド「ハウンドドッグ」の大友康平さん、声優の山寺宏一さんらが知られるが、今回芥川賞作家が加わったことは、卒業生・在学生にも大きな刺激となるだろう。余談だが我が桜の聖母学院高校からはまだ芥川賞作家は出ていないものの、北九州市にある姉妹校の明治学園中学校の卒業生に、京都大学在学中の1999年『日蝕』で第120回芥川賞を受賞した、平野啓一郎さんがいる。

今回の移転で福島市からはもちろん、郡山市からでも十分通学可能圏内となる東北学院大学は、多彩な学部を揃えますます魅力的な進学先となっている。90年代にいち早く取り入れたAO入試の現在の形である総合型選抜をはじめ、学校推薦型選抜の指定校推薦に加えて、同キリスト者等推薦は私たちカトリック学校出身者も対象としており、我が校にとって「近くて近い」四年制総合大学であり続けるだろう。

土樋キャンパスの塀に掲げられた、佐藤さんの芥川賞受賞を祝う横断幕

私の学生時代

飯塚康之先生の巻

私は高校時代、自身の進路について考えた時、何を学びたいのか、どのような職業に就きたいのかが全くわかりませんでした。そのような時、私のような悩みを抱えた人たちの話を聴くことを仕事にしたいと考えました。

今から20年以上前になりますが、カウンセラーになるためには、臨床心理士の資格が必要な時代でした。その臨床心理士の受験資格を得るために、宮城教育大学大学院教育学研究科（修士課程）に進学しました。臨床心理士になるためには、実務経験が必要であり、その経験を積むために、大学院入学後の6月から東北学院榴ケ岡高等学校で、週2日、スクールカウンセラーとしての仕事を始めました。その後、精神科の病院での心理カウンセラーや、児童自立支援施設、情緒障害児短期治療施設（現：児童心理治療施設）での学習支援員や心理カウンセラーとしての仕事が加わり、週5日勤務となりました。そのため、大学院時代は大学キャンパスに通った記憶がなく、キャンパスの思い出がない大学生活となりました。講義も教育臨床総合研究センターという大学外の別施設で開講するものしか受講しなかったため）。

そのような中、思い出に残っているのが、東北学院榴ケ岡高等学校での仕事でした。東北学院はプロテスタントの学校なのですが、出勤日は朝の礼拝から参加し、キリスト教についていろいろと学ぶことができました。また、クリスマスの時期には、「藤崎」という百貨店で売られているケーキがプレゼントされ、毎年楽しみにしていたことを覚えています。

このように順調にカウンセラーとしての仕事をはじめたわけですが、この時期に仕事に関する悩みを抱えてしまいました。それは、仕事の「やりがいのなさ」です。カウンセラーという仕事は、クライエントの抱えている問題を解決に導く仕事です。このカウンセリングというものは、限られた生徒と、限られた時間しか関わることができません。そして、問題が解決すると、その生徒は相談室に来なく（来れなく）なってしまいます。この「関わりのなさ」が「やりがいのなさ」に感じられてしまったのです。

そのような中で、生徒たちとより多く関わることができる教員の仕事に魅力を感じ、教員になろうと決意しました。本当は、高校公民の教員免許を取得したかったのですが、心理学の実地演習と教育実習が重なり、公民科の教員免許は取得できませんでした。国語の教員免許は、卒業単位と関係なく趣味として受講していたのですが、そのおかげで今日国語の教員として仕事ができています。

高校生当時、教員として働くことは、全く想像していませんでした。大学生になってからも、教員になるとは考えていませんでした。夢は不変のものではなく、変わっていくものだ、と社会人になってから気づかされました。

書評

ウクライナから来た少女 ズラータ、16歳の日記

文・絵 ズラータ・イヴァシコワ

2月24日でロシアによるウクライナ侵攻が始まって1年が過ぎたが、終戦の見通しは全く立たず、故郷を追われ他国に避難した人々がいつウクライナに帰れるのか、もし帰れたとしても元の生活を取り戻すにはどれほどの時間とお金が必要になるか、当事者ではない私たちですら、やりきれない思いになる。そしてコロナで多少不自由な思いをしながらも、命の危険や明日の心配をしなくてもいい平穏な生活を送れる自分を、申し訳なくさえ思ってしまう。ましてや犠牲者であるウクライナの人々、中でも私たちと同世代の高校生は、何を思いどんな日々を過ごしてきたのか。この本は、その生々しい心境や自分の身に起きたこと、そして戦争という異常事態の中でも決して失われない助け合いや心の美しさなどを、翻訳を介してではなく本人自らが繊細な日本語で表現し綴っているというだけでも、唯一無二の本である。

そもそもなぜウクライナの高校生ズラータ・イヴァシコワさんが、日本語ができるのか。この本を読めばわかるのだが、13歳の頃に祖母宅で、ロシアで出版された「日本語独習」という本を見つけて譲ってもらい、そこからほぼ独学で身につけたというからすごい。インターネット時代の今、その気になれば私たちだってできるのだろうが、なかなかここまでは物にならない。ズラータさんはその本から始めて、日本のアニメや漫画に興味を持ち、愛読書はネットで取り寄せた太宰治『人間失格』初版本。一時は日本語教室にも通ったが、先生はウクライナ人で、ズラータさんはウクライナにいた間にネイティブの日本人と話したことすらなかったというから驚きだ。

ウクライナ東部の町ドニプロで、美術を専攻する高校に通いながら、大学生になったら日本の美大に留学して、いつか日本で漫画家になりたいという夢を抱いていたズラータさんの日常は、文化の違いこそあれ私たち日本の高校生と変わりなかった。しかし1年前、担任の先生の「皆さん、明日から戦争になります」という衝撃の言葉から、全てが変わった。空襲警報とミサイルの爆発音に怯える日々。私たちも経験した東日本大震災ならば相手は自然で、人間は協力し合っていたし、余震さえ収まれば復興に取りかかれたのに（原発事故は別だが）、戦争の場合は悔しいことに相手は同じ人間、さらにいつ終わるともわからない不安と恐怖は全く異なる。私たちは戦争の体験談というと、お年寄りから聞く白黒写真の時代の話だが、これはこの1年以内に実際に起こっていたことなのだと、ズラータさんの文章と絵から改めて思い知らされた。

3月半ばを過ぎた頃、ズラータさんの母親は、彼女を一人で日本に避難させる決意をする。もうウクライナから国際便は飛んでいなかったので、母親と二人で戦火のウクライナをひたすら列車で西へ向かい、国境を越えて隣国ポーランドへ。ところがそこで二人はコロナに感染してしまい、PCR陽性が続くズラータさんは日本行きの飛行機に何度も乗れないという苦境に直面するが、日本人の報道関係者やポーランド在住の日本人女性の支援もあり、4月9日ついに桜が満開の日本の土を踏んだのだった。

いま彼女は17歳になり、横浜で一人暮らしをしながら日本語学校に通って高校卒業資格を取得し、かねてからの夢だった日本の美大への入学を目指している。「今日できることは、明日もできるとは限らない」。この言葉は、当たり前がずっと続くものではないという、彼女が実感したからこその重みがある。

自分はどう生きていたいのか、何を一番大切にしていきたいのかを、リアルタイムに私たちと同世代のズラータさんの経験を通して、考えてみてはどうだろうか。そしてこの無意味な戦争が一日も早く終わり、ズラータさんがウクライナに残る家族と再会できることを、祈らずにはいられない。

新学期に向けて スタートダッシュ！
参考書フェア
辞書・電子辞書ご相談下さい。
FBN 文化情報発信館 西澤書店
福島市大町7-20
Tel.024-522-0161
Fax.024-522-4139

大切な写真は
●広々とした空間を持つ —ファミリースタジオ—
●緑に包まれた —ガーデンスタジオ—
●絵画が楽しめる —サロンスタジオ—
わが家のメモリーアート
PHOTO SALON
ワタナベスタジオ
〒969-1612 福島県伊達郡桑折町字西大隅3-13
TEL024-582-3152
FAX024-582-3622

福島県知事許可（般-29）第22204号
中小企業IT経営力大賞 審査委員会奨励賞
有限会社 古山鉄筋工業所
専務取締役 古山 吉浩
2級建築施工管理技士
鉄筋基幹技能者
〒969-1761
福島県伊達郡国見町大字藤田字アラ田10-1
TEL（024）585-5129
FAX（024）529-6028
URL https://furuyamatekkin.com
E-mail：furuyama.tekkin@me.com

感動のそばに、いつも。JTB
旅は心の窓を広げます
お問い合わせ・お申込みは下記店舗まで。
—団体旅行—
㈱JTB福島支店
〒963-8004 福島県郡山市中町10-14 和久屋ビル2階
TEL 024-932-0657 FAX 024-933-6620
営業時間 9：30～17：30（土・日祝休業）
—グループ・個人旅行—
㈱JTB福島イトーヨーカドー店
〒960-8068 福島県福島市太田町13-4 イトーヨーカドー福島店1階
TEL 024-531-3090 FAX 024-531-3088
営業時間 10：00～19：00（イトーヨーカドーの休館日休業）

創業明治38年（1905年）
地域と共にさらなる1世紀へ
ISO 9001 ISO 14001 認証取得
総合建設業
㈱利根川組
代表取締役 利根川 靖幸
本社
福島県伊達市霊山町掛田字本山57番地1
TEL:(024)-586-3121
FAX:(024)-586-3122
URL:http://www.tonegawagumi.jp/
整備工場
福島県伊達市霊山町字本山56番地
TEL:(024)586-3181

編集後記

✽今回の取材では考えさせられる内容が多く難しかったけど、先輩方と最後までやり切れました。求む！新入部員!!（ピアニッシモ）

♪3年間様々な場所に取材に行き、貴重な体験をすることができました。高校生活最後の今回も、新聞制作に携われて良かったです。（プラヴィッシモ）